

「被災者支援コーディネート事業」における
企業CSRマッチングの成果について
(同時発表：公益社団法人リース事業協会)

平成27年1月に開始した「被災者支援コーディネート事業」により、企業・団体のCSR活動と自治体及び現地団体のニーズのマッチングに至ったため報告します。

○内容

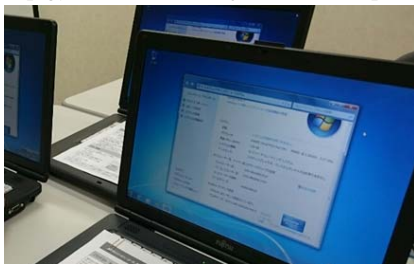
公益社団法人リース事業協会（以下「リース事業協会」という。）は、特定非営利活動法人しんせい（以下「しんせい」という。）に対して、リース終了パソコン3台を寄贈する。寄贈されたリース終了パソコンは、被災障がい者が将来への不安を感じる中で、生きがいを取り戻すための活動を中心に行っているしんせいの作業所に設置され、障がいのある方への就労支援のため、被災地の福祉作業所と共同でのカバンや菓子の製作プロジェクト等のプロジェクト製品の管理・販売、データ入力、発送用ラベルの作成等に利用される。

【寄贈を受けた団体】

団体名	活用途
特定非営利活動法人しんせい	プロジェクト製品の管理・販売、データ入力、発送用ラベルの作成等

※事業活動「のびやかで前向きな心も育てるミシンの学校」は、平成27年度復興庁「心の復興」事業に採択。

[寄贈されるリース終了パソコン]



[しんせいの施設]



[作業所内の様子]



※日本マイクロソフト(株)の協力により、シチズンシップライセンスを利用したWindows 7及びOffice2010搭載。

【被災者支援コーディネート事業概要】

復興庁において、平成27年1月から事業実施。被災者の見守りやコミュニティづくりの支援を充実するため、①支援体制の充実、②企業CSR活動（企業の社会貢献活動）と自治体ニーズのマッチング等を実施。

【リース終了パソコンの寄贈活動について】

リース業界では、リース終了物件のリユース（再利用）・リサイクル（再資源化）を推進している。リース事業協会の社会貢献活動では、業界の特色を活かし、ユーザーから返還されたリース終了パソコンについて、会員リース会社から無償提供を受け、整備して寄贈する活動を行っている。東日本大震災の被災地の将来を担う次世代の教育活動等を支援するため、平成23年度から被災3県の公的教育機関に対して寄贈を実施してきたが、被災者をできる限り幅広く支援するため、平成27年度から被災地域で教育支援・地域振興・社会福祉に関する活動を行う非営利法人へと寄贈活動を拡大する。

(本件照会先)

復興庁 被災者支援班

参事官 牛島、担当 北中

TEL 03-5545-7481